EN RESORT
Grandeco

2023年度版

安 全 報 告 書

グランデコスノーリゾート

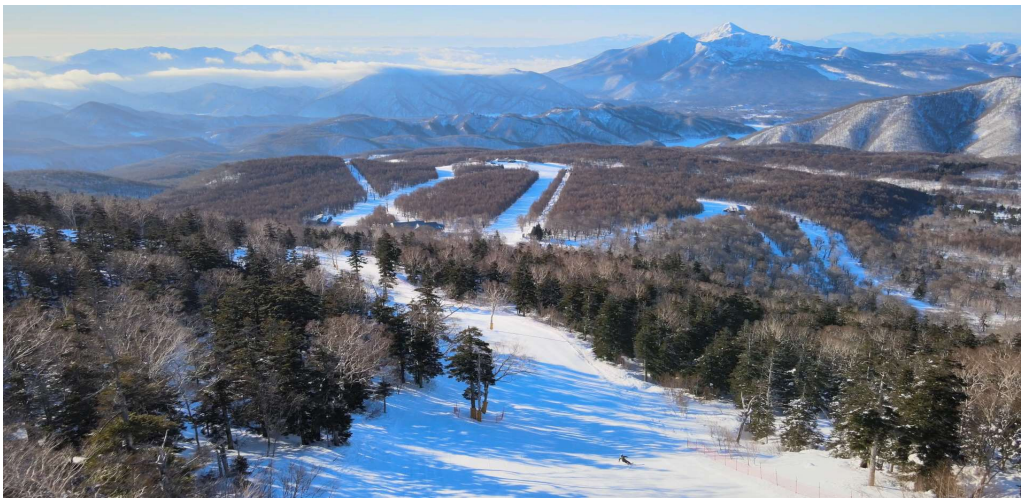
ゴンドラリフト

第1クワッドリフト

第2クワッドリフト

第3クワッドリフト

第4クワッドリフト



The COURT

１．利用者の皆様へ

日頃より、グランデコスノーリゾートをご利用頂き、また弊社索道事業に対しご理解を頂き誠に有難うございます。
弊社は、スキー事業理念において「お客様の安全確保」を第一に掲げ、各索道設備における点検整備の実施・強化、法令遵守の徹底など、安全輸送に最大限努めております。

2022年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により過去に例のない事業環境に遭遇し、厳しい営業状況になりました。その状況下でも感染拡大予防に努め、衛生管理を徹底することにより感染の発生をすることなく過ごせたことは幸いであり、ご来場いただいたお客様のご理解とご協力には大変に感謝いたしております。

今後につきましても、施設整備をはじめ、より一層の衛生管理を徹底し、皆様が安心して楽しめる環境づくりを全社一丸となり実行していく所存でございます。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解をいただくために公表するものです。みなさまからの声を、さらなる輸送の安全に役立てたく積極的なご意見を頂戴できれば幸いでございます。

The COURT株式会社
代表取締役社長　柱本　哲也

２．安全基本方針

当社のスキー場事業理念の第一は安全確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知、徹底しております。

１）全社一丸となり輸送の安全の確保に努め、「安全を最優先」に行動します。

２）輸送の安全に関する法令及び規程類を遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。

３）憶測に頼らず確認の励行に努め、疑義がある時は最も安全な取扱いをします。

４）事故・災害等が発生したときは、その状況を冷静に判断し人命救助を最優先に行動し、安全適切な処置をとります。

５）輸送の安全に関する知識・技能向上に努め、常に問題意識を持ち継続的な改善を図ります。

３．索道運転事故発生状況

１）索道運転事故
2022年度は、国土交通省への索道運転事故、人身事故の報告はありません。

２）災害（地震・暴風・豪雪など）
2022年度は、災害による運行停止はありません。尚、強風による運行停止は安全確保のため、状況により実施いたしました。

３）インシデント（事故の前兆）
2022年度は、国土交通省へのインシデント報告はありません。

4. 安全確保の為の取組み

1）安全重点施策

当社では、安全重点施策として年間、中期、長期の整備計画を作成しています。

2022年度の主要整備実施項目　　OH⇔オーバーホール

ゴンドラリフト	握索機解体整備（16台） 支柱受索装置ピン・ブッシュ交換（6・18号支柱）
第１クワッドリフト	握索機解体整備25台 線路監視装置ITV交換修理 押送ベルト交換
第２クワッドリフト	握索機解体整備（18台）
第3クワッドリフト	握索機解体整備（13台） 押送ベルト交換 主、副減速機OH
第4クワッドリフト	休止中

通常整備 ：全支柱点検整備・握索機点検・機械装置整備点検

2023年度の主要整備計画項目　　OH⇔オーバーホール

ゴンドラリフト	支柱受索装置ピン・ブッシュ交換（8・１５・20号支柱）
第１クワッドリフト	握索機更新28台 支柱受索装置ピン・ブッシュ交換（2号支柱）
第２クワッドリフト	握索機更新19台 押送ベルト交換
第3クワッドリフト	握索機更新15台 3QL場内機械装置塗装
第4クワッドリフト	休止中

通常整備 ：全支柱点検整備・握索機点検・機械装置整備点検

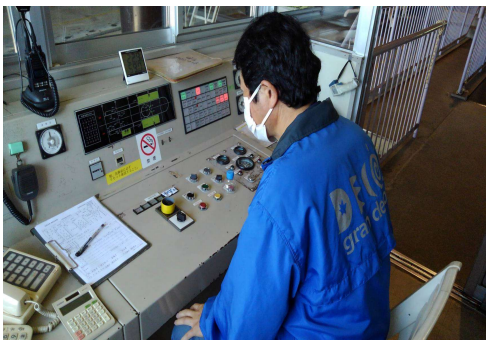
2）人材教育

当社では、輸送並びにお客様の安全確保に役立つよう、シーズン営業開始前および営業期間中についても、社員および経験者の指導による施設の仕様、リフト運行取扱いについての安全教育、各種研修会に積極的に参加しています。

＊勤務前研修（夏期）　7月30日～9月17日（4回）・6名
＊勤務前研修（冬季）　11月23～3月1日（14回）・54名
＊東北索道協会福島地区部会技術管理員研修会　（実施日１１月８日）参加者２名

【勤務前研修】夏季

【勤務前研修】夏季



【勤務前研修】冬季

【勤務前研修】冬季

3）訓練

毎年スキーシーズン前及びシーズン中にリフトの救助訓練を実施しています。

救助訓練実施状況

＊ゴンドラ救助訓練　（実施日7/27、11/22　計2回　25名参加）

＊冬季救助訓練　（実施日12/1～2/21　計2回　32名参加）

【夏季勤務前救助訓練】

【冬季勤務前救助訓練】

【予備原動機切替訓練】

【予備原動機切替訓練】

4）安全向上への積極的な取組

＊監視カメラの増設

利用者の安全確保のため基幹リフトを中心に乗り場又は降り場に監視カメラを増設しています。

＊気象情報の収集

外部気象会社より情報を取得し自然災害や異常気象時の索道運転事故防止に努めています。

＊滑走時のヘルメット着用の啓発

お客様へのヘルメット着用の推奨と　スタッフの着用を徹底しています。

5）安全向上への積極的な取組

＊監視カメラの増設

利用者の安全確保のため基幹リフトを中心に乗り場又は降り場に監視カメラを増設しています。

＊気象情報の収集

外部気象会社より情報を取得し自然災害や異常気象時の索道運転事故防止に努めています。

＊接客マナーの向上

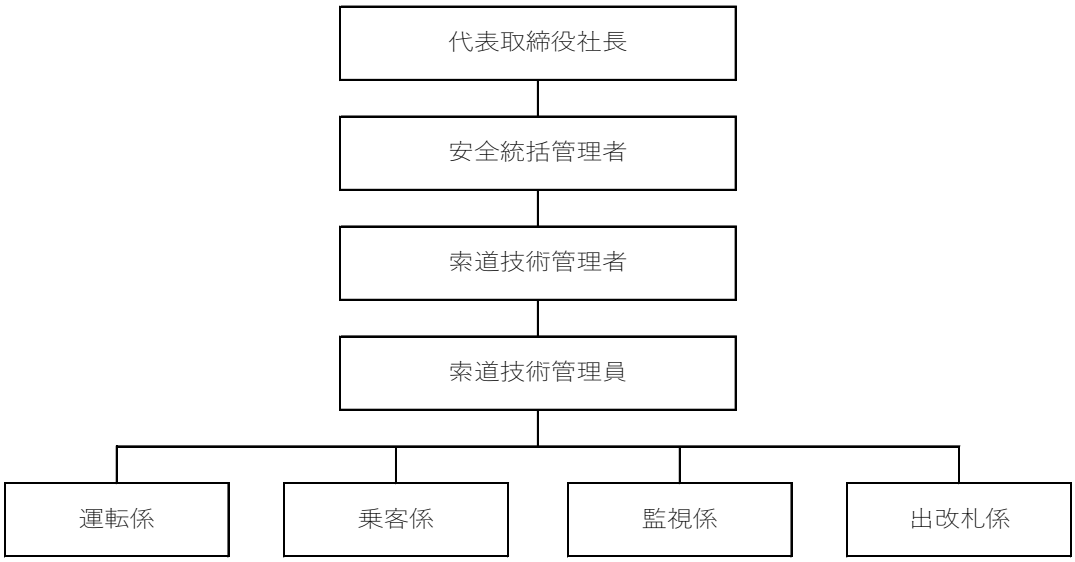
索道業務マニュアルの細部を見直し業界No.1の接客を目指します。

５．安全管理体制図

2023年3月6日の索道事業譲渡譲受認可申請に伴い、2023年4月に「安全管理規程」を改正し、社長をトップとする安全管理体制を構築しております。
この組織の中でそれぞれの責務を明確にした上で安全確保に努めております。尚、各管理者の役割は下記の通りです。

代表取締役社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、担当する索道の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を管理する。

【体制図】



６．終わりに

安全管理規程に則り、安全の確保を第一に掲げ努力してまいりました。これを踏まえ来シーズンもお客様が安全・安心・快適にご利用いただけます様、設備の充実、整備、運行管理等を実施し、安全で快適な索道運行を目指し、さらなる安全管理の向上を図って参ります。この報告書を2022年度の安全報告書とさせていただきます。